

町長の行政報告（抜粋）

■東日本大震災からの早急な復旧・復興

住宅・宅地除染は、平成26年度の目標1,920戸のうち、1,430戸が完了。(3月末現在) ※町全体の目標3,300戸のうち、2,563戸が完了。(4月15日現在)

県北浄化センターの仮設汚泥乾燥施設が3月に完成。4月に運転を開始する。

平成27年産米の吸収抑制対策は、県が継続を決定。地域農業再生協議会を開催し、地区説明会を実施した。

風評被害払拭対策は、町特産品あんぼ柿のトップセールスを東京、北海道、大阪で実施。あわせてリンゴ、コメなど国産産の農産物をPRした。

あんぼ柿の非破壊検査は、約30万トレーを検査し、基準値である25ベクレル未満のものが97パーセント以上となった。

役場新庁舎の建設は、3月に建物本体の引き渡しを受け、5月7日に開庁式を行う予定。

■安全安心なまちづくり

町防災計画は、東日本大震災以降改正していなかったため、3月11日の町防災会議で審議し、改正した。

■活力あるまちづくり

交流の場（道の駅）整備事業は、1月から造成工事に着手し、用地の所有権移転登記や支障物の撤去を進めている。

また、出荷組合も早期の設立に向け農産物生産者、商店街と協議中。

3月1日開催のくみにみ春のフードフェスタは、町内外から約60店舗が出店し、約1万8000人が来場。浜通りや

宮城県、岩手県の沿岸部の自治体からも参加し、被災者同士の思いや連帯感を共有した。

企業誘致は、「株式会社トラフィック・レンタルリース(本社:秋田市)」が山崎字下亀田地内で8月に営業開始予定。

■思いやりのあるまちづくり

少子化対策は、これまで協議会を3回開催し、議論の結果を提言としてまとめる予定。

若者交流事業は、実行委員会で事業を検討し、3月15日に若者向け「結婚セミナー」、28日に「交流バスツアー事業」を開催。

■町民との連携、町の維持発展

まちづくり懇談会(タウンミーティング)は、約100人が参加。今後も町民の意見を反映するよう広聴活動に努める。

歴史まちづくり計画は、2月23日に奈良市、京都府向日市とともに認定を受けた。今後、国の支援を受けて各種事業を進める。



仮置き場を明るく。壁装飾画披露の様子(森江野町民センター)

意見書

3月定例会では意見書1件を可決し、国など関係機関へ送付しました。

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

本県の復興加速や労働人口の流出防止、中小企業の支援強化のため、最低賃金の引き上げと早期発効を求めるもの。

可決

みなさんからの陳情

3月定例会では陳情1件を委員会で審査し、結果は以下のとおりとなりました。

陳 情	提 出 者	結 果
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について	日本労働組合総連合会 福島県連合会 伊達地区連合会 議長 高橋誠一	採 択

～8人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



町政を問う

一般質問

3月定例会

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

議員	質問事項	ページ
佐藤 定男	制度改正で教育の中立性はどうなるのか	12
井砂 善榮	「大地の恵み館」閉店後の利活用は	13
	西根堰側道の改良改修工事を促進せよ	
松浦 常雄	地方創生をどう受け止めているか	14
渡辺 勝弘	コミュニティ・スクールの目的は何か	15
村上 晴夫	自主財源の乏しい本町の財政見通しは	16
	人事評価制度をどう進めるのか	
渋谷 福重	貝田地区ほ場整備着工が遅れる影響は	17
浅野 富男	地域の消費喚起・生活支援交付金の使途は	18
	国保制度改正で税負担は増えるのか	
村上 正勝	町合併60周年記念事業は何か	19
	ドッグランを設置しては	
	トレーニングルームを設置しては	
	ふるさと納税は寄付者の意向を反映できるのか 新庁舎で町民が戸惑わないか	

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/groups/gikai/>]

国見町議会ホームページ → 会議録検索 → 会議録検索システム → 会議録検索システムへ